コーポレートファイナンス
第１回小テスト

学籍番号 _____　専攻名 _____　氏名 _____

問題

問 1. 以下の各文を読み、（　　）の中に正しければ○を、誤っていれば×を記入せよ。（１５点）

1. 割引率を 5% とすると、毎年 10 万円ずつ受け取ることができる永久債の現在価値は 200 万円である（　　）
2. 在庫の増加は、ワーキング・キャピタルの増加要因である（　　）
3. リアルオプション法は、経営上のオプションが認められ、かつ事業リスクが大きいプロジェクトの投資判断に利用するのに適している（　　）
4. ２つのポートフォリオを比べるとき、リスクが大きいポートフォリオの方が常に期待リターンも大きい（　　）
5. 株式のリスクのうち、市場リスク（マーケットリスク）はポートフォリオに組み込む銘柄数を増やしていくと、リスク分散効果により０に近づいていく（　　）

問 2. ある土地の開発プロジェクトで次のような案が提案されている。(１８点)
「A案：初期投資 40 億円でビルを建設する。ただし、1 年後にはこのビルを 45 億円で売却する」

1. このプロジェクトの IRR（内部収益率）を計算し、何% という形で答えよ（答えの数字が割り切れないときは小数第３位を四捨五入して小数第２位まで答えよ)。

_____%

2. 割引率を 8% とするとき、このプロジェクトの NPV（正味現在価値）を計算し、何億円という形で答えよ（答えの数字が割り切れないときは小数第３位を四捨五入して小数第２位まで答えよ)。

_____億円

3. 「期間は同じ１年で、IRR が 10% で、割引率を 8% のときの NPV が 1.8 億円」というＢ案というＡ案とは相互排他的なプロジェクトの代案が提示された。いずれにしても投資に対する適当な割引率は 8% と考えられている。このとき、A案とＢ案のどちらの案を採用すべきと考えるか。テキストの趣旨（コーポレートファイナンス理論における考え方）に沿った理由とともに答えよ。

問 3. 次の問に答えよ。(１７点)

1. マーケットポートフォリオとはどのようなポートフォリオであるか、次の言葉を用いて説明せよ。
   効率的フロンティア,　資本市場線,　シャープレシオ

2. ある株式のベータが 2.0、無リスク金利が 1% であると仮定する。またマーケットポートフォリオの期待リターンは 4.5% とする。CAPM の下で、この株式の（均衡）期待リターンを求めよ。

   _____%

3. 無リスク金利が 2% であると仮定する。ポートフォリオＡの実績リターンは 5%、リスク（リターンの標準偏差）は 25% であり、ポートフォリオＢの実績リターンは 7%、リスクは 30% であり、ポートフォリオＣの実績リターンは 9%、リスクは 50% であった。投資（運用）の効率という点で最も優れたポートフォリオはＡ～Ｃのどれか。理由とともに答えよ。